

ご挨拶

21世紀に飛躍する新たな産業の創出、企業間の技術交流やビジネスマッチングの支援を目的に、毎年開催しているのが「国際フロンティア産業メッセ」です。前身となる「国際先端技術メッセ」も含めると通算で24回目となります。

昨年に引き続き、コロナ禍のもとでの開催となりましたが、県内外から350社を超える企業や団体の皆様にご参加いただけることとなりました。感染拡大防止のため、様々な制約があるなか、参加を決定いただいた企業・団体の皆様、そして開催にご尽力いただいた関係の皆様にご心から感謝を申し上げます。

今年のテーマは「世界が動く 持続可能な 新社会へ」です。いま世界では、コロナ禍で打撃を受けた経済を、成長産業への積極的な投資やイノベーション創出によって立て直しを図ろうとする動きが加速しています。単にコロナ以前の状態に戻すのではなく、持続可能で、より良い社会にする。まさに「コロナからの創造的復興（Build back better）」に向け、私たちは果敢に挑戦していかなければなりません。

なかでも、本メッセの特別テーマにもなっている「環境・エネルギー」は、これから大きな成長が期待される分野です。会場では、カーボンニュートラルを実現していくため、環境性能を向上させた製品などが数多く出展されると伺っています。

また、内外で注目を集める水素エネルギーの導入のほか、2025年の「大阪・関西万博」に関する基調講演なども実施されます。とりわけ、万博は新しい技術やシステムの実装を世界に発信できる絶好の機会であり、兵庫はもとより、関西全体が連携しながら取り組むべきビッグイベントです。この「国際フロンティア産業メッセ2021」を契機として、次代をリードする新しい技術や産業が創出され、「躍動する兵庫」の実現につながっていくことを大いに期待しています。

兵庫県知事 齋藤 元彦